

入選

うけつがれる親切ヒーロー

静岡県 豊岡小学校

4年 山田花凜

わたしが1年生のとき、近所に同級生の男の子と女の子がいて、そのうえ6年生のとても親切なお姉さんもいたので、心強かったです。けれども、今年入学してきた1年生のまほちゃんは、近所に同級生のいない女の子なので、不安そうでかわいそうだな、と思いました。

近所の上級生では、4年生のわたしが一番年上でした。わたしは、まほちゃんが登校中に不安にならないよう、ちょっとでも安心させようと、手をつないで登校することにしました。

5月初じゅん、そんなまほちゃんが登校のとちゅうから、友達と行けるようになり、わたしは安心しました。

ある日、まほちゃんはいつものように友達を見つけ、かけよったときころんで、けがをして泣いてしまいました。わたしはそれを見て、1年生のときのできごとを思い出しました。

1年生だったわたしは、いつものように友達と歩いていると、石につまづきころんでしまいました。そのとき、6年生のお姉さんが、

「だいじょうぶ？待って、今ばんそうこう出すから。」

と言い、ランドセルからばんそうこうを出し、はってくださいました。わたしは安心し、学校に行くことができました。わたしは、

「かっこいい！いつかわたしもそうになりたい！」

と思いました。そして、その日からばんそうこうをランドセルに入れるようにしました。

まほちゃんが泣いています！まほちゃんの友達も、あわてています！周りの上級生の人たちは、こまっています。わたしはそれにいち早く気づき、かけよってあのときの言葉をかけました。

「だいじょうぶ？ばんそうこう、はってあげるね！」

ランドセルからばんそうこうを出し、はりました。

まほちゃんは安心し、

「ありがとう！もう友達と行けるよ。」

と言い、いつも通り登校しました。

わたしはお姉さんを見て、学んだ親切をまほちゃんにできました。わたしは、まほちゃんがお姉さんになったとき、同じように下級生に親切にできる子になってほしいと思います。

みんなが親切ヒーローになって、温かい社会になってほしいです。